

意見・要望等	回答
平成29年11月13日（月） 北地区コミュニティセンター	
<p>1. 長根山駐車場付近に熊の出没が多く、緩衝帯の整備が大事。ボランティアの協力等を得ながら刈り払いを実施してほしい。</p>	<p>昨年、駐車場東側の法面にヤマユリの球根の寄附があり、今年度以降は寄附をいただいた団体にその管理と併せ、刈り払い作業を実施していただくこととしており、その周辺一帯の刈り払いは、指定管理者の大館市体育協会が今年度以降継続して実施します。</p>
<p>2. 大山（おおやま 松峰神社登山口）に5月ごろ登ったが、山頂からの田代岳など展望が木で遮られて非常に悪く、ぜひ改善してほしい。</p>	<p>展望を遮っている木がある土地は、3財産区と6町内の入会地となっており、現地を確認した上で5月下旬開催の山田地区入会地整備協議会に諮り、対応方針を決定します。</p>
<p>3. 長木川の桜は高齢化し枯れ枝が多く、落下すれば事故が起きかねない。下の草刈りは町内会でもやっているが、高い所の手入れは市でしてほしい。</p>	<p>長木川沿いの桜については、定期的な剪定や適時の薬剤散布に努め、また、見通しを悪くしている枝や家屋に支障のある枝は、剪定時以外にも随時伐採を行っています。今後も桜の育成状況を把握しながら適正な維持管理に努めます。</p>
<p>4. 長木川河川敷のテニスコートは整備されなのまま放置されている。ほぼ役目は終わったと思うので、撤収して芝生公園にしてほしい。</p>	<p>昨年7月下旬に発生した豪雨災害により、コート表面の土砂流出や防球ネット破損等の被害を受け、先般復旧工事を発注しましたが、25年度の災害復旧から経過年数が浅く、復旧に当たっては、表面処理に使用する購入土の縮小や防球ネットの設置を取り止めるなど経費削減に努めています。芝生の整備については費用対効果を勘案しつつ、維持管理に協力いただいている清水町内会や利用者等の意見を伺いながら進めます。</p>
<p>5. 御成町一丁目の大正堂前から国道7号陸橋へ向かう代野通りは通学路なので、歩車道を区別するラインを引いてほしい。</p>	<p>市道大館長木線は、有浦小学校や東中学校、国際情報学院などへの通学路で、町内会などから歩道設置要望のある路線です。昨年度、旧花岡鉄道跡の交差部から国道7号陸橋までの区</p>

	<p>間で拡幅工事を行い、3月末までに車道と路肩を区分する外側線を引きました。また、大正堂から旧花岡鉄道跡の交差点との区間は今年度に拡幅工事を予定しており、外側線も引くこととしています。歩行者等の安全確保のため、要望区間については道路拡幅のほか、歩道設置の計画も進めます。</p>
<p>6. 中道三丁目付近で、田んぼの側溝に水が滞留し悪臭の原因になっており、コンクリートU字溝を入れてほしい。</p>	<p>中道三丁目3号下水路は、今年度から一部区間を整備する計画ですので、今しばらくお待ちください。なお、悪臭発生は生活雑排水の流入も原因の一つと考えられ、当該区域の一部は公共下水道が整備・供用されていますので、悪臭発生を抑えるためにも公共下水道への接続をお願いします。</p>
<p>7. 労働力不足を解消するため、外国人の技能研修生制度を活用すべきではないか。市役所に専門部署をつくるなど、商工会議所・商工会と一緒に受け入れ態勢をつくってほしい。</p>	<p>労働力の確保に向け、国の働き方改革の一つに外国人労働者の受け入れが掲げられており、地域経済の振興のためには可能な限り外国人の受け入れを進める必要があると考えます。技能実習制度は海外協力の観点から創設された制度で、中小企業にとっては労働力不足が直面している課題であり、解決の糸口を外国人実習生に求めることはやむを得ないと認識しています。制度運用は国際研修協力機構が相談の総合窓口となることから、市は相談窓口の紹介に対応します。また、還流型の技能実習制度から定住型の外国人居住者の受け入れへと進めるため、商工会議所や商工会を初めとした経済産業界との議論、さらには教育・福祉面を含め取り組む必要があると考えます。</p>
<p>8. ハチ公に関する商品について、若い人に人気のある外部の人を招聘し新たなグッズをつくってはどうか。</p>	<p>市内では、ハチ公関連商品として、お菓子や雑貨など15種類、はちくんグッズはTシャツや帽子、バッグなど約50種類が販売されています。また、渋谷駅東急東横店では東横ハチ公オリジナル商品6種類を扱い好評を得ているほか、同</p>

	<p>店のイベントで販売する鶏めし弁当の包み紙に、東急百貨店のマスコットキャラクター「東横ハチ公」と大館の「はちくん」をデザインする企画も進んでいます。新たな商品開発はあらゆる年齢層を開拓する意味からも秋田犬のふるさと大館の情報発信に大きく結びつくものであり、さまざまな機会を捉えて外部からの意見・要望等を業者に伝えてまいります。</p>
<p>平成29年11月13日（月） 片山町内会館</p>	
<p>・ 片山八坂地区のほか、道路や側溝の破損は早急に改善整備を。</p>	<p>片山八坂地区に限らず、市内全域の道路・側溝は経過年数とともに老朽化が進んでいます。特に生活道路の補修は、重要課題として取り組んでおり、交通量や道路用途（幹線市道、通学路等）から重要度や緊急度を判断し、優先順位を決め計画的に進めているところです。</p>
<p>平成29年11月14日（火） 田代公民館</p>	
<p>1. 病院の収納業務体制の見直しと、職員の意識改革が必要である。</p>	<p>今回の事件が委託業務の範囲内で起きていることから、委託業務における業務監督責任について契約上に明確化し、業者に対し不正防止策を具体的・実質的に指示することとしました。設備面では現金の入金履歴が詳細に記録され、不法操作の予防に効果的なPOSレジシステムを導入して不正防止を強化しました。また、市職員による業務監督体制と収入金確認業務を見直し、多角的に点検するとともに、常に危機意識を持って日常業務に当たるよう内部統制の確立を図ります。</p>
<p>2. 「県の所管だから県に聞け」なる市職員の接遇は遺憾である。</p>	<p>職員の接遇については、求められているものは何かを十分理解しながら、市民に寄り添った対応をするよう指導しているところです。市が直接関与しないものであっても、一方的に断ることはせず、解決に向けてのアドバイスや橋渡し役などを担うことが市民の信頼を得ることになり、今後も、市民から感謝いただけるよう</p>

	な対応に努めるよう指導してまいります。
3. 地域のイベントに、職員は積極的に参加してほしい。	職員に対しては、これまでも地域の一員として地域イベントなどへの積極的な参加を促してきました。その参画の意義は住民とのコミュニケーション等の能力向上や、住民との信頼関係の構築による市民協働の推進、職員自身の生きがいの再発見など、市職員として培った見識やノウハウを地域に還元できる絶好の機会と捉え、今後も職員には積極的な参加を促してまいります。
平成29年11月14日（火） 高齢者生産活動施設（三岳地区）	
1. バス路線にもなっている道路脇に「なだれ防止柵」があるが、その周りの雑木が大きくなってしまい、機能が果たせなくなるので伐採してほしい。	市道独鈷中野線のなだれ防止柵が設置されている、北向き道路法面に自生する雑木の伐採については、高所作業のためクレーンなどの機械作業も伴うことから、繁茂状況を確認の上、計画的な伐採を検討します。
平成29年11月15日（水） 比内公民館	
1. 融雪溝の設置について。米代川河川敷公園完成後に計画をお願いしていた。地域の賛同・許可も取り、当時、建設省主導で設置することになっていたもので、ぜひ進めてほしい。	消流雪用水導入事業は、河川から市街地を流れる水路等に消流雪用水を供給するもので、国が取水・導水施設を、地元自治体が水路や流雪溝などを整備し、地域が施設の管理運営を担う事業です。合併前に旧比内町が自治体施工部分を精査したところ、流雪溝の整備延長が長く費用も多額となるほか、流末や維持管理体制の構築などさまざまな課題があり、事業化に至りませんでした。固定資産税の減免制度による町内雪寄せ場など、市街地における雪押し場の確保に努めており、また、昨年度から導入した除雪車運行管理システムを活用した、きめ細かな除雪を行います。
2. 自治会組織がないので陳情書を出すにしても、その都度、町内会長が集まってリーダーを決めなければならない。市が認める団体を	町内会は、同じ地区の住民の共通利益の実現と、生活の向上を目的として組織する任意団体です。地域の町内会長で組織する団体も同様で

つくり、そこを窓口にして市への要望を進めたい。市長・部課長の方々と対話もしたい。

あり、市が設置を認可するものではないため、地域の町内会長の皆さんで話し合ってください。なお、要望事項は町内単位でも受け付けています。また、市では、市民からの意見を広く市政に反映させ、よりよいまちづくりを実現するため、対話の集い「市民と語る会」を開催し、市長や担当課長が地区公民館等を訪ね、意見・要望に直接答えますので、開催を希望する場合は相談ください。

3. ハチ公温泉施設を過疎地対策で比内側につくってはどうか。比内地鶏の本場として一本化した宿泊可能な施設を考えては。

観光資源としての温泉の活用は大館の魅力を伝える重要な柱の一つであります。現在、市内には14軒の温泉宿泊施設が営業しており、市の指定管理施設では矢立ハイツとたしる温泉ユップラが営業していますが、比内ベニヤマ荘は、施設の老朽化に伴い営業再開を断念したところです。また、日帰り入浴施設は市内で13軒が営業しており、そのうち市の指定管理施設は湯夢湯夢の里と二井田市民集会所（ハチ公荘）の2軒です。市の温泉施設は住民サービスの向上と経費節減等を目的とし、指定管理による運営を行っています。要望の温泉施設については、現段階で新たな構想の検討には至っていませんが、大葛町民浴場とベニヤマ自然パークのコテージ等を活用した整備を考えています。宿泊を伴う施設の運営は、需給バランス、施設整備や運営経費などさまざまな課題があり、まずは現在ある入浴施設の充実に努め、ONSENガストロノミーウオーキング等のイベントを通じ、温泉や比内地鶏を初めとする大館の魅力を発信しながら、観光客を含めた交流人口の増加を図り、その上でビジネスチャンスと捉えた民間事業者の参入に期待したいと考えています。

<p>1. 花岡地区総合スポーツ公園の野球室内練習場は、ほこりが多く困っているので除去してほしい。また、黒鉢を保存してほしい。</p>	<p>ほこりは人工芝の上の砂が舞い上がり粉塵となっていることが考えられますので、今後、人工芝部分に砂が入りこまないよう出入り口に板を敷くことや人工芝部分の清掃作業などを実施します。また、黒鉢は貴重な財産であり、このまま保存します。</p>
<p>2. 武道館を解体すれば、どこで練習するのか。武道館を建設してほしい。</p>	<p>武道館は、今年で築47年が経過し老朽化が著しく、解体予定です。解体後の活動場所は、小・中学校体育施設開放事業により第一中学校や東中学校の武道場を利用いただくことや、今後、整備を予定している花岡総合スポーツ公園内の武道場を活用いただくなど、今後の活動に支障がないよう関係団体と調整します。また、代替施設の建設については、大館のまちづくりを見据えながら、ハード・ソフト両面あわせて議論する必要があります。関係団体と協議を重ね、さまざまな角度から検討します。</p>
<p>3. 地区の防犯協会などの総会に、平成29年度から市は「勤務時間外の会議には出席させない」とのことだが、何のためか。</p>	<p>市は、大館市防犯協会会長から委嘱され、協会の事務局として事務処理を行うほか、三役会や理事会、定期総会などを開催しています。防犯協会各支部の総会開催に当たり、来賓として市に案内をいただきましたが、防犯協会会長が出席すべき場であり、市は協会事務局の立場であることから、お断りしたところではありますが、説明が不十分でした。今後は、市に対する各支部の総会への出席依頼があった場合は可能な範囲で出席いたします。</p>
<p>平成29年11月16日（木） 中央公民館</p>	
<p>1. 郷土博物館は現在の場所では行きにくい。ジャスコ跡地、大館駅前などに移転し、行きやすい博物館にしたらどうか。</p>	<p>現在の郷土博物館には、広大な展示・収蔵スペースがあり、貴重な収蔵物を数多く保管しており、また、所管業務には埋蔵文化財調査も含まれているため、遺物の整理作業や保管スペースも同居しています。これを新たな施設として整備するためには巨額な財源を要しますので、</p>

	<p>十分な検討が必要です。現施設は耐震補強が必要とされたため補強工事を行い、今後20年程度をめどに継続して使用する予定です。新規施設や移転については、市民の声や議会での議論を踏まえ今後の検討課題とします。</p>
<p>2. 山王台の交差点に政治家・政党ポスターが多い。柄沢の交差点にも増えており、景観として汚い。1カ所に9枚もあり、選挙期間が終わったら外したらどうか。</p>	<p>ポスターには、選挙期間中の選挙運動用と政治活動用があり、選挙運動が終了したときは、選挙運動用ポスターは速やかに撤去しなければなりません。政治活動用ポスターは選挙運動期間以外にも掲示できます。調査したところ、指摘の場所は市有地で、許可なく設置している状態でした。本来、市有地などの公有地には、法律によりポスターを掲示することができないため、早期に撤去するよう掲示責任者へ指導します。</p>
<p>3. 市が景観をよくしようというメッセージがどこにもない。道路が壊れている箇所が多い。生活道路は特に悪く、他市と比べても悪い。まちの整備を含め景観を考えてほしい。観光客を迎えるにも必要だ。</p>	<p>市の景観については、都市計画マスタープランを見直ししながら、地域特性を生かした景観づくりの推進に向け、景観計画の策定や景観条例の制定を検討しています。歴史的風致維持向上計画では、歴史的建造物などを巡る道路や桜の並木道の美装化を進めており、良好な景観の保全と創出に努めています。また、道路・側溝は経過年数とともに老朽化が進み、優先順位をつけながら計画的に補修を進めており、特に生活道路は重要課題として取り組んでいます。併せて、イベント開催施設や集客施設等を連絡する幹線道路の補修も計画的に実施するとともに、路肩の草刈りや街路樹の剪定など維持管理面も含め、訪れる観光客などの印象を悪くしないよう、景観に配慮した道路維持や補修、整備に努めます。</p>
<p>4. 長木川の河床が浅く、「天井川」になっていないか。水面が足首程度までしかなく水たまりのようで氾濫が心配だ。測量したらどう</p>	<p>長木川を管理している秋田県では、下内川の合流点から上流側に、順次、築堤などの河川改修事業に取り組んでおり、また、河道掘削事業</p>

<p>か。</p>	<p>も実施しています。市街地を流れる長木川は、氾濫すると甚大な被害が発生することが予想され、引き続き河川改修や河道掘削事業の推進、早期完成について、今後も県に強く働きかけていきます。</p>
<p>5. 3年前の大雨で長根山町内の松の木が倒れ町内会館が壊れた。建物は市のものだが改修の動きもなく、解体してほしい。</p>	<p>会館の敷地は、昭和49年4月1日から現在まで長根山自治会集会所敷地として、市と長根山自治会との間で土地使用貸借契約を締結していますが、建物の使用貸借契約書が存在せず、現在経緯について調査中であり、調査が終わり次第、町内の皆様と協議します。</p>
<p>6. 広報大館表紙から市章が消え、「はちくん」になっている。復活させてほしい。</p>	<p>過去に、表紙のタイトル部分のデザインに市章を取り入れていた時期がありましたが、市章の復活については、紙面デザイン刷新時などの機会を捉えて検討します。</p>
<p>7. 少年自然の家の冬期一般利用ができなくなっている。年間を通じて利用できるよう県に言ったがだめだった。市からも働きかけてほしい。</p>	<p>県へ確認したところ、維持費などさまざまな状況を勘案し、11月1日から2月28日までは館内利用を休止し、主催事業と出前講座のみを行っているとのことであり、宿泊を伴わない場合は市の施設である公民館や北地区コミュニティセンターを利用いただき、宿泊を伴う場合は休止期間以外の開催や他施設の利用をお願いします。なお、休止期間でも冬山登山などの際は、トイレの利用はできます。</p>
<p>8. 敬老会に参加。秋田県民歌は歌うが市民歌を歌うことがない。市民としては誇りを持って市民歌を歌いたい。</p>	<p>余興を企画していただいている大館地区婦人会と協議します。</p>
<p>9. 大葛金山資料館は、言わないと開けてくれない。資料もガラスケースの中で、手に取れない。資料館を残して充実させ、観光客が来るようにしてほしい。</p>	<p>大葛金山資料館は、午前9時から午後4時までの営業時間で通年運営していますが、ベニヤマ自然パークの運営も同時に行っており、セキュリティの関係上、一時施錠していることもあります。また、展示資料は劣化や破損防止等のため、ショーケースに入れてあります。今後も、引き続き資料収集に努めながら展示物の充実</p>

	を進めます。
平成29年11月16日（木） 山田分館	
1. 分館の設備に対する予算が少ない。雨漏りも修理してくれない。避難場所になっているのに毛布もなくカーテンなども防火用になっていない。また、発電機もない。	分館の予算について、山田分館の屋根葺き替えの実施が遅れておりますが、今年度に実施できるよう取り組んでいます。また、カーテンは、速やかに防災仕様とします。避難場所について、台風や水害等で避難が必要となったときは、市で指定する一次避難所や二次避難所へ避難することになります。一次避難所は災害発生時ただちに開設する避難所で、一定期間を過ごせるよう食料・飲料水・毛布及び発電機などを配置しており、まずは一次避難所に避難していただくこととなります。山田分館は必要に応じ開設する二次避難所であり、食料等の災害備蓄品は配置していません。避難が必要と認められる場合には避難所を開設し、市が職員を派遣するとともに必要な備蓄品等を届けることとなります。
2. 災害があったときの水路を復旧してほしい。山田川上流の水路が災害で流されている。修復するため苦労しているが河川として格上げし市でやってもらえないか。また、もう一度現地を見てほしい。	市が管理する河川、受益者等で管理する農業用排水路、利用者で管理する法定外公共用財産である水路など、その管理区分や範囲に合わせ、それぞれの管理者で維持管理や災害対応などを行っています。なお、再度現地を確認します。
3. 狐森地内の道路カーブがきつい。解消してほしい。	市道鳴滝線及び山田線は、バス路線とともに大型車両の通行が多く、狐森地内は、坂道のうえS字カーブとなっていて、特に、ため池付近は6メートルの幅員が確保されているものの、両側がガードレールのため圧迫感があり、地域からもカーブ解消や拡幅要望が出されていますが、道路用地の確保が必要となりますので、地域の協力を仰ぎながら整備に向けた取り組みを検討します。
4. ハチ公の駅の中に祭りの山車を入れてほし	ハチ公の駅（仮称）については実施設計を終

<p>い。観光のため。</p>	<p>え、今春から工事に着手し、来年度中には完成するよう進めています。山車の展示は、展示スペースの確保、開口部の制約及び管理上の問題などにより、実現は難しいと考えていますが、祭りの山車は、伝統文化的な価値や観光資源としても重要と捉えており、一昨年本市を会場に開催された「新・秋田の行事」、JR大館駅前で開催されているイベント「駅1 ONE」において大館神明社例祭の「ひき山行事」が披露されるなど、観光イベントの目玉の一つとして活用されておりますので、今後、活用を広げるよう検討します。</p>
<p>5. 高齢者生産活動施設が存続の危機にさらされている。こんな立派な施設をなくさないでほしい。</p>	<p>地元関係者と協議を重ねましたが、地元が維持管理していくのは困難であるとのことから、将来的な廃止もやむを得ないとの地元の理解をいただいています。また、廃止までの間に地元や民間などから要望があった場合には、譲渡等に向けて地域住民と協議しながら検討することとしており、廃止後、地域住民が活動の継続などを希望される場合は、地域応援プランなど地域コミュニティを支援する事業メニューを活用いただきたいと思います。</p>